

医療機関2025プランに基づく協議(有床診療所)

医療法人治奈会 八木クリニック
はるなウインメンズクリニック
マサキ外科 肛門科
岩 本 医 院
村 岡 整 形 外 科

八木クリニック 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人治奈会 八木クリニック
開設主体	医療法人治奈会
所在地	岩国市玖珂町829-1
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	3床 一般病床 3床 回復期 3床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	3床 一般病床 3床 回復期 3床
診療科目	産婦人科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	3名 1名 1名 1名 1名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

数年病床稼働実績はないが、産婦人科診療所として母体保護法に基づき入院設備を有することが必要であるため、病床を維持している。

② 自施設の課題

なし

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

なし

② 今後持つべき病床機能

なし

③ その他見直すべき点

なし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	3		3
慢性期			
休棟等			
(合計)	3		3
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

はるなウィメンズクリニック 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	はるなウィメンズクリニック
開設主体	医療法人 はるなウィメンズクリニック
所在地	岩国市平田 1-28-27
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19 床 一般 急性期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19 床 一般 急性期
診療科目	産科・婦人科・外科・肛門科・胃腸科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	2 名 16 名 (助産師 6 名) 4 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

有床診療所入院基本料 1、医師配置加算 1、看護配置加算 1、夜間看護配置加算 1、
時間外対応加算 1、HPV拡散検出（簡易ジェノタイプ判定）

平均在院日数5.7日

主に分娩を取り扱う。

② 自施設の課題

- ・分娩取り扱い施設の減少の中、岩国医療センターとの住み分け、協力をいかにするかを検討中。
- ・山口県、岩国市の出産数が減少している状態で、自施設の収入確保。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・正常分娩の取り扱い
- ・婦人科検診（子宮癌検診、乳癌検診）の実施および啓蒙活動

② 今後持つべき病床機能

- ・引き続き分娩取り扱い施設として急性期病棟を維持する。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	19		
回復期			
慢性期			
休棟等			19
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	0		
うち、介護医療院	0		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

人件費や材料費、経費の上昇に伴い、医院収入を増加させる必要がある。分娩単価を上げることで安定を図る。
--

【4. その他】(自由記載)

--

マサキ外科肛門科 医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	マサキ外科肛門科
開設主体	個人
所在地	岩国市麻里布町5-3-12
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
診療科目	肛門科、外科、胃腸科、整形外科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	15名 1名 7名 3名 4名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料：有床診療所入院基本料 1
平均在院日数 8日、病床稼働率 35.5%
特徴：入院患者は全例肛門疾患の手術症例

② 自施設の課題

当医療圏では最も多くの肛門疾患手術を行っていると思われるが、人口減少の影響か、手術症例が若干減少傾向にある。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

当医療圏の急性期病院である国立岩国医療センターでも肛門手術専門医が不在のことがあり、急性期病院の勤務医の負担軽減のためにも、今しばらくは入院肛門手術を継続していきたいと考える。

② 今後持つべき病床機能

急性期病床を維持し、肛門手術を実施する。

③ その他見直すべき点

特になし。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	19		19
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

住民の身近にあって介護事業を実施する有床診療所は、今後構築される地域包括ケアシステムの中で、有用な医療資源であると考えます。専門医療を提供する有床診療所も、急性期病院の勤務医負担軽減に資する役割が期待できる。

岩本医院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	岩本医院
開設主体	医療法人 淳心会
所在地	山口県岩国市周東町下久原 2480-1
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	2 床 有床診療所 一般
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	2 床 有床診療所 一般
診療科目	内科 循環器科 心療内科 小児科 呼吸器科 精神科 眼科 放射線科 リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	2 名 5 名 11 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

入院基本料 5

病床区分 一般

医師配置加算2(有床診療所入院基本料)

平均在院日数 2日

病床稼働率 1%

② 自施設の課題

特記無し

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①~②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

特別養護老人ホームや老人保健施設入所者の容態悪化時の受け入れ

② 今後持つべき病床機能

急性期病床と慢性期病床の中間的な役割

③ その他見直すべき点

特記無し

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	2		2
慢性期			
休棟等			
(合計)	2		2
介護保険施設へ移行予定	0		0
うち、介護医療院	0		0

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

急性期病床に入所するほどでは無いが慢性期病床では対応できないような患者を受け入れる病床が求められている。
--

村岡整形外科診療所 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	村岡整形外科
開設主体	個人
所在地	岩国市山手町1-6-0
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病棟 19床 回復期 19床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 19床 回復期 19床
診療科目	整形外科 リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	16名 1名 5名 7名 3名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料5

平均在院日数 127.5日 病床稼働率 47.3%

特徴 4機能のうち回復期が中心

② 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①~②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

② 今後持つべき病床機能

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	19床		19床
慢性期			
休棟等			
(合計)			
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--